



もぎたて通信

令和7年7月1日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

茂木っ子の心を見つめる教育週間終了

6月25日（水）～7月1日（火）は、茂木っ子の心を見つめる教育週間でした。

学校では、子供たちに「命の大切さ」について、たくさん考えてもらいました。25日（水）の全校朝会（校長講話）では、右のスライドのように、「命の大切さ」について考え、「命を輝かせて生きてほしい」という話をしました。子供たち一人一人が自分に合った命の輝かせ方を見つけていってほしいと思います。

【被爆体験講話（家族証言講話）】

27日（金）は、講師に永井徳三郎先生をお招きし、被爆体験家族証言講話をしていただきました。永井徳三郎先生は、永井隆博士のお孫さんであり、現在永井隆記念館の館長さんでいらっしゃいます。

祖父の永井博士は爆心地から約700mの長崎医科大学研究室で被爆されました。当時37歳だった博士は、ご自身も大けがを負いながら、原爆傷病者の救護に当たられました。その後、病床に伏しても前向きに生き、本を書いたり、色紙「平和を」を書き続けたり、命ぎりぎりまで自分ができる平和活動をしておられたこととお話いただきました。

そして、自分勝手な平和はよくないこと、ちいさな「平和」をつくっていくこと（こころやさしく いのちたいせつに ささえあい たすけあうきもち）の大切さを教えていただきました。

【土曜参観日】

28日の土曜参観日には、道徳科の授業で、それぞれの担任と一緒にさらに「命の大切さ」について学びを深めていきました。ご多用の中にも多数のご参観をいただき、ありがとうございました。今後、ご家庭の方でも、さらにお子様の考えが深まっていくようご支援ください。

授業参観後の懇談会の時間には、トムソーヤーズの皆様にも、読み聞かせの会を開いていただき、子供たちは本の世界を通じて考えを深めることができました。また、終了後には、PTAや地域の皆様にもご協力をいただき、集団下校（強調月間パトロール）を実施することができました。自分たちの安心・安全を守るために、多くの大人たちが協力してくれていることを子供たちも感じる取ることができたと思います。本当にありがとうございました。茂木っ子たちの健やかな成長のために、今後ともどうぞご協力をお願いいたします。

7月は、「ココロねっこ運動」強調月間です。引き続きよろしく申し上げます。

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。
～大人みんなで子どもの心を育てましょう！「あいさつします。わたしから！」～



7月です。これから夏休みに向け、1学期の仕上げ、まとめをする時期になります。子供たちが登校するのも今日を含めて14日間です。終業式も含まれますので、実質の学習期間は13日間ということになります。1学期に何ができるようになったのか、何がまだ不十分で引き続き努力が必要なのか、一人一人が自分の1学期を振り返り、2学期の目標へとつなげていく大切な時期です。ご家庭でも、できるようになったこと、まだ十分とは言えないことをお子様と話題にしてください、この1学期を親子で振り返っていただきたいと考えています

7月の行事予定

- 1日(火) 安全の日 5年平和キャンドル作り
 - 2日(水) 茂木の木タイム 縦割り掃除
 - 3日(木) クラブ活動
 - 4日(金) スクールカウンセラー来校日
 - ※6日(日) 茂木パーロン大会
 - 7日(月) 午前中5時間短縮日課 5年校内研究授業(5年生のみ6校時まで)
 - 8日(火) 午前中5時間短縮日課 児童集会(運営)
 - 9日(水) 午前中5時間短縮日課
 - 10日(木) 午前中5時間短縮日課 トムソーヤーズ読み聞かせ(1・2年)
 - 11日(金) 午前中5時間短縮日課
 - ※12日(土) 夏の交通安全運動~18日 トムソーヤーズ料理(3・4年)
 - 14日(月) 縦割り掃除
 - 15日(火) もぎトーク 交通安全教室(1・2年)
 - 16日(水) 縦割り掃除
 - 18日(金) 第1学期終業式
 - ※19日(土) トムソーヤーズ料理(5・6年)
- ※7月19日(土)~8月31日(日) 夏休み
 ※8月9日(土) 全校登校日 平和祈念集会
 ※9月1日(月) 第2学期始業式

若菜川を眺めて

昔から、子育て(教育)には、アメとムチ、つまり「褒める」と「叱る」ことの両方が必要だとよく言われます。「褒めて、叱って、また褒める」「1叱って、4褒める」「10褒めて、1叱る」・・・などと言われる割合や順番はいろいろですが、大切なことは、たくさん「褒める」ことです。子どもの自己肯定感を絶対に奪ってしまってはいけません。

そして、もう一つ大切なことは、「怒る」のではなく「叱る」ということです。「怒る」と「叱る」は違います。「怒る」は、よくありません。その違いは、次のような感じでしょうか。

怒る	叱る
① 感情的に	① 理性的に
② 自分のために	② 相手のために
③ 過去に焦点をあてて	③ 未来を見据えて
④ 怒りと勢いで	④ 愛と勇気で
⑤ 自分の言いたいように	⑤ 相手に伝わるように
⑥ 感情に任せて	⑥ 試行錯誤しながら
⑦ 相手を否定するように	⑦ 相手を認めながら

これからも、茂木っ子の周りにいる私たちすべての大人が、みんなで手を取り合い、子供たち一人一人の未来を見据えて、愛情たっぷりに、上手に褒めながら、上手に叱りながら、子供たちを教育していきたいものです。